

被災地での活動報告

学校心理士会 全国大会

春日井

岩手、福島の二県での活動報告などがあつ

た。日常を取り戻すた
 めの学習や遊びの支
 援、学校心理士の担い
 手育成が紹介された。
 発表者たちは「相手
 に負担をかけず、黒子
 に徹する」「事態は急
 には良くならないけれ
 ど、子ども成長を止
 めてはならない」とい
 った思いを語り、「学
 習をいかに保障する
 か」を課題に挙げた。

(谷知佳)

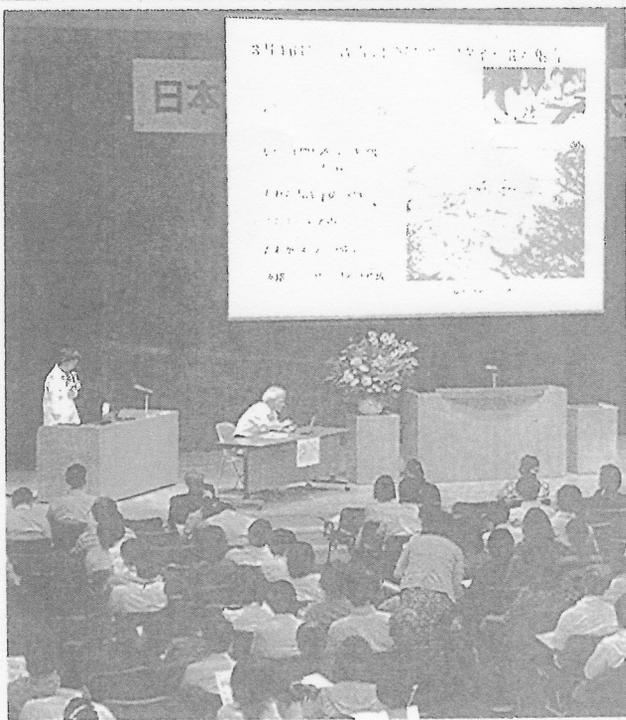
日本学校心理士会
 (東京)の全国大会が
 二十日、春日井市松本
 町の中部大で始まり、
 約五百人が参加した。
 二十一日までの二日
 間、現場の実践報告か
 ら今後の活躍の展望を
 考える。東海地方での
 開催は初めて。

学校心理士は、学校
 現場で生徒指導や教育
 相談、特別支援教育な
 どの場面で心のケアを
 担う。一般社団法人学
 校心理士認定運営機構
 (東京)が資格を認定
 している。学校心理士
 に準ずる学校心理士補
 を含め全国で約三千六
 百人いて、県内には百
 三十五人いる。

二十日は、東日本大
 震災で被災した宮城、

'12. 8. 21

(第3種郵便物認可)



東日本大震災被災地での実践報告を聞く
 参加者たち 春日井市松本町の中部大で